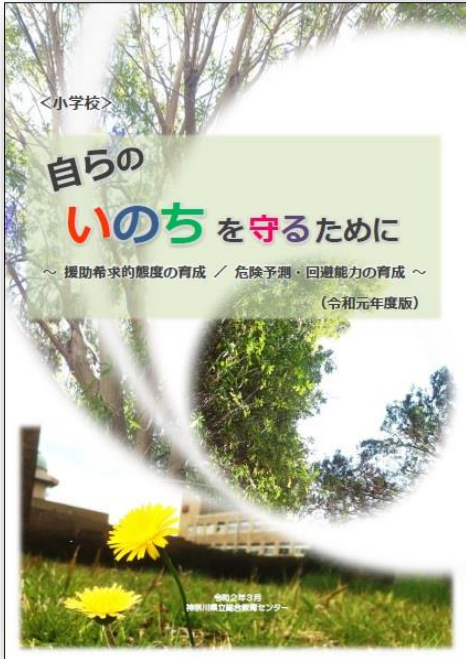




<小学校> 自らのいのちを守るために

～援助希求的態度の育成／危険予測・回避能力の育成～（令和元年度版）



安心、安全な学校づくりを目指すためには、大人が見童の周囲にある危険を取り除くだけでなく、「自らのいのちを守ることができる資質・能力」を育成することが大切です。

本冊子では、

- ① 援助希求的態度の育成
- ② 危険予測・回避能力の育成

という二つの柱を設定し、取組の進め方を整理するとともに、具体的な授業案やワークシート等を紹介しています。

*危険予測・回避能力の育成に関しては、安全教育の三領域である「災害安全」、「生活安全」、「交通安全」を取り上げています。

6 援助希求的態度

7 評価

1
1.1
2
2.1
3
3.1
4
4.1
5
5.1
6
6.1
7
7.1
8
8.1
9
9.1
10
10.1

授業用資料⑥ *A4サイズで印刷して使用

(位連先)

① こうでいい あんげんに、すげすための ルールは…

みんなが
かながえよう

② 「これはあぶない」と あちったことは…

③ あんげんに、すげすために これからげんばりたこととは…

授業用資料⑦ *A3サイズで印刷して使用

(位連/グループ)

※ 枠の中に学校の周辺の写真や絵を貼る

※ 枠の中に学校の周辺の写真や絵を貼る

① 写真を見て、次に起こるかもしれないこと(危険)について考えましょう。

② 危険を回避する行動について考えましょう。

③ 道路を歩くときや自転車に乗るときに気を付けようと思うことを書きましょう。

7 評価

各教科の評価については、「知識・技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「主体的に学習に取り組む態度」の三観点について見える「観点別学習状況の評価」とそれを総合的に捉える「評定」について、実施します。また、これには示しきれない児童のよみや可能性、進歩の状況については、「個人内評価」として実施します。

各教科における評価の基本構造

・各教科における評価は、学習指導要領に基づき各教科の学習内容に基づいて学習状況を評価するもの（**授業評価**）として、授業活動の過程、活動中での観察や活動後の振り返りなどから評価するものと評価するものとを区別する。

授業評価の種類

- 授業活動中の評価（知識・技能、思考力、判断力、表現力等、主体的に学習に取り組む態度）
- 学習活動後の評価（知識・技能、思考力、判断力、表現力等、主体的に学習に取り組む態度）

評価の種類

- 観点別学習状況の評価（知識・技能、思考力、判断力、表現力等、主体的に学習に取り組む態度）
- 個人内評価（児童一人一人のよみや可能性、進歩の状況について評価するもの）

中央教育審議会 2019「児童生徒の学習評価の在り方について（報告）」を基に作成

年間指導計画や指導体制等の見直し

評価とあわせ、学校の年間指導計画や指導体制等を見直していくことも大切です。見直しを行う際の視点の例としては、次のような項目が考えられます。

- (1) 全般的な指導体制が確立されているか、教職員間の連携が図れているか。
- (2) 日程や時間、実施回数が適切であるか。
- (3) 安全管理との連携が図れているか。
- (4) 児童等の実態、地域の特性を反映しているか。
- (5) 指導の内容や方法に詳細はなしているか。
- (6) 指導に必要な教材・教具、資料等が準備されているか。
- (7) 保護者や地域協働者の協力や理解が得られているか。

文部科学省 2019「『生きる力』をたくむ学校の安全教育」より *一部編集修正して作成

この冊子は、神奈川県立総合教育センターのホームページからダウンロードできます。

<https://www.edu-ctr.pref.kanagawa.jp/>

